

學會彙報，奧付

雑誌名	漢文學會々報
巻	27
ページ	72-79
発行年	1968-06-15
URL	http://hdl.handle.net/2241/00149096

學 會 彙 報

○昭和四十二年度漢文學會總會

〔漢文教育研究会〕 六月十七日（土）於都立武藏丘高校

一、研究授業

第二學年〔李白「將進酒」〕（大修館版）

實施者 金子 泰三氏

二、研究会

第一部

(1) 挨拶

武藏丘高校長 三瓶 達司氏
同校園語科主任 藤崎 一史氏

(2) 教授者説明

第二部

〔中學校の古典教育について〕

司 會 水澤 委員
大木 春基氏

〔研究発表會〕 六月十八日（日）於東京教育大學

司 會 牛島、水澤、青木、巨勢委員

一、詞集「花間集」について

學 部 柚木 利博氏

一、陶淵明の「文學どころ」について

大學院 櫻田 芳樹氏

一、荀子の性説形成について

大學院 中村 俊也氏

一、王充の命論について

大學院 大久保隆郎氏

一、六朝説話の傳説性と普話性について

東大大学院 高橋 稔氏

一、杜詩における老境表現

九段高校 田部井文雄氏

一、文字論の對象とその方法

千葉大 志村 和久氏

一、正始詩について

教育大 鈴木 修次氏

〔總會〕

司 會 田部井委員

一、開會の辭

〔總 會〕

一、議長選出（松下 忠氏）

一、委員長挨拶

鎌田 委員長

一、報告並びに議事

(1) 報告

(1) 庶務報告

横山 委員

(2) 研究一部報告

青木 委員

(3) 研究二部報告

水澤 委員

(2) 議事

(1) 昭和四十一年度收支決算

牛島 委員

(2) 昭和四十二年度豫算

牛島 委員

一、閉會の辭

〔懇親會〕

司 會 青木、田部井委員

○昭和四十二年度月例會

○五月二十日（土）

一、大衆語運動について

大學院 松尾 善弘氏

一、抗日戦争期の周而復について

大學院 前田 利昭氏

○七月十五日（土）

一、草明研究！延安に行くまでの作品を中心として！

大學院 清水久美子氏

一、鮑照「擬行路難」について 大學院 向島 成美氏

○十月十四日(土)

一、「詞と妓女」—唐代を中心として—

一、惠施の思想について 學部 柚木 利博氏

○十一月二十五日(土) 大學院 舘口 明氏

一、庾信の賦について 大學院 高木 重俊氏

一、「詩經」と孔子 大學院 巨勢 進氏

○昭和四十三年度漢文學關係講義一覽

(一) 一般教育科目

鎌田 教授 漢文學講讀

鈴木 助教授 (思想)

鈴木 助教授 (文學)

外國語科目

牛島 教授 中國語 二 (文法)

松本 助教授 (文法)

陳 講師 (會話)

長谷川 講師 (作文)

志村 講師 (作文)

志村 講師 (文法・作文)

中村 講師 (〃)

中村 講師 (讀本)

〃 (讀本)

〃 (讀本)

〃 (讀本)

〃 (讀本)

〃 (讀本)

(二) 專門教育科目

戸川 講師 (上級)

小林 教授 (荀・韓)

〃 (學庸章句)

〃 (周易)

鎌田 教授 (論語集注)

〃 (論語集注)

牛島 教授 (中國哲學演習)

〃 (中國哲學演習)

鈴木 助教授 (中國文學史)

〃 (中國文學史)

今井 助教授 (中國哲學概論)

〃 (中國哲學概論)

松本 助教授 (日本漢文學演習)

〃 (日本漢文學演習)

〃 (中國言語學演習)

〃 (中國言語學演習)

〃 (中國文學演習)

〃 (中國文學演習)

〃 (日本漢文學特講)

〃 (中國言語學講讀)

〃 (中國文學特講)

〃 (中國文學講讀)

〃 (中國文學講讀)

〃 (中國思想史)

〃 (中國思想史)

鎌田 教授 中國思想史 (春秋學講義)

牛島 教授 中國言語學講讀 (朱子語類)

鈴木 助教授 中國文學 (阮籍)

今井 助教授 中國思想史 (易注疏講讀)

松本 助教授 中國言語學講義

横山 講師 中國文學 (詩論)

○文學部紀要論文

中國語形態素の形及び意味に關する考察 松本 昭

○修士論文

一、名家の研究 謠口 明

一、詩經國風研究 巨勢 進

一、草明研究 清水久美子

一、荀子思想研究 中村俊也

一、一九四十年代を中心とする周而復の文學活動

前田 利明

一、鮑照研究 向島 成美

○昭和四十二年文學部卒業論文題目

一、陶淵明と文學 大上 正美

一、墨子と孟子—孟子の墨子排撃の背景について 加藤 章

一、張天翼論—兒童文學を中心にして— 近藤 龍哉

一、「故事新編」について 小島美樹子

一、郁達夫研究—その創造社時代を中心として

佐治 俊彦

一、陶淵明研究—作品にみられる親愛についてを中心として

島田 紘一

一、韓非子研究 菅原 直香

一、墨子思想の研究 杉江 康子

一、莊子—内篇を中心にして 杉山 兆且

一、水滸傳の諸考察 隅内 悦男

一、老子研究—老子に於ける矛盾思想について

服部 澄明

一、魯迅の文學觀について 宮澤 光子

一、楊朱研究 山中 恒己

一、儒林外史論 吉田 忠一

一、陳獨秀研究 松下 宏

次號原稿募集

左記により次號第二十八號の原稿を募集いたします。ふるって御應募下さい。尙、締切期日、原稿枚数は規定を厳守願います。

一、締切 昭和四十四年一月末日

一、枚數 四百字詰原稿用紙三十枚以内

一、採否 委員會に御一任下さい

小学館

中・高校生、一般むき…定評ある小学館の辞典

新選 国語辞典 改訂新版

金田一京助・佐伯梅友・大石初太郎・編

総語数七万余、新語・重製語・子語を増補。人名・地名・時事用語も豊富。語義用法も高校教育内容に密着して解説。
B16判 1160ページ
定価 四八〇円
特価 五五〇円

新選 漢和辞典 改訂新版

東京教育大学教授・小林信明・編

親字八千五百余、見出し熟語六万余。高校教科書中の用例・出典・例文を加え各親字の中国音も収録。漢文学習に必備。
B13小判 1312ページ
特価 五八〇円
定価 六三〇円

新選 古語辞典 改訂新版

東京教育大学教授・中田祝夫・編

収録語数四万四千、新しい引例、詳細な出典明示、親切な解説などを古典解明に便利。高校生の古文学習に必備の辞典。
B6判 1344ページ
特価 六〇〇円
定価 六五〇円

ダイヤモンド英和辞典

学習院大学教授・ニューアリンズ著者・稲村松雄編

★中学生むき／英語教科書に準拠した8千6百余語収録
A6判・616ページ 特価三〇〇円・定価三五〇円

中文書籍専門店
直輸入、在庫豊富

朱子語類

六版 影印 精裝本
定價 六、二〇〇圓

說文解字詁林

及補遺

丁福保編 精裝十二册
定價 二、〇〇〇圓

冊府元龜

B5判精裝二十册
定價 二、五〇〇圓

株式會社

海風書店

電話東京(五)四三四四番(五)八三六四番
振替口座 東京五三一三二番
取引銀行 三菱三崎町支店

内山書店

東京神田島區内一ツ橋
電話 263~5561(代表)

- 二十五史 付人名索引 香港文學研究社 全十册 ¥56,000
- 清史稿 上下 中華書局 ¥12,000
- 冊府元龜 中 全十二册 ¥80,000
- 後漢書(綫裝本) 全十八册 ¥9,500
- 清名家詞 香港太平書局 全十册 ¥14,400

移轉いたします

本年八月の豫定

新店舗 東京都千代田區
神田神保町1-15

不朽の名著、権威ある本格的漢字典

大字典

上田万年・岡田正之・
飯島忠夫・柴田猛雄・
飯田伝一 共編

●特装版(A5豪華本)四、三〇〇円

●普及版(B6縮刷版)二、〇〇〇円 総二、九三二頁

*親字一万七千、熟語十四万/字源の解釈は最も詳しい/実用的な慣用音・名のり・草字彙の記述/当用漢字索引や現代かなづかいの要領など増補

■漢字辞典・用字用語辞典を兼ねた
斬新な国語辞典

講談社国語辞典

久松潜一
林 大 監修
飯倉篤義

●小B6判 総二、三六頁 五五〇円

総語数七万二千/同音異義語・重要語を
印で指示/故事・成語・慣用句を多数収録/
「漢字音訓総覧」など、便利で充実した付録

東京都文京区音羽二―二―二二
振替 東京三九三〇

講談社

鹽谷溍博士著 内田泉之助博士跋文

唐詩三百首新釋

影印 二、八〇〇圓
B6判

日本では始めて鹽谷博士が解釋され、刊行されたが既に絶版となつていたものを影印再刊す。

卷首に詳細な唐詩の敍説をのせ、敍述は訓讀・大意・講義・餘論の項に分れ、懇切を極めてゐる。全ての漢字に總ルビを施してあり、若い學徒にも読みやすい。

唐詩三百首

清・蘅塘退士編
返點付 B6判

三八〇圓

編次を絶句・律詩・古詩の順に改め、返點を施す。
「唐詩三百首新釋」と共に御使用いたゞきたい。

論語集注

影璜川吳氏仿宋刊本(返點付)
上・下二册函入 B6判

三六〇圓

論語 斯文會訓點

B6判 二二〇〇圓

論語の本文全文に返點・送りがなを附す。

株式 書籍 文物流通會發行

(連絡先) 東京都文京區湯島一―四―二五
(811)四六〇六・(813)一七〇六一七
振替 東京 二一九九六

中日大辭典

愛知大學編

B 6判 二、一〇〇頁 上製本 定價三、五〇〇圓

本書の特色：簡體字・繁體字・異體字をふくむ一萬一千餘字を収めた戦後最大最高の中國語辭典 *中國で審定された最新の讀本を全面的に採用し、最も正確な發音記號を付す *政經時事・科學技術用語から、方言・成語・俗語・諺語・古語におよぶ語彙十三萬を收録した最も豊富な内容 *能率的に使用できる各種索引をつけ、日中辭典としても利用できる *各種付録と共に中國に關する事典としての性格もかねる

聞一多全集 全四卷

朱自清主編 一九四八年八月上海開明書店版影印

A 5判 二、三四〇頁、全四册 上製本 定價一、〇〇〇圓

劉賓客文集 三十卷・外集十卷

唐・劉禹錫著 南宋紹興刊本影印

A 5判 七〇四頁 洋裝一册 上製本 定價 三、五〇〇圓

孟東野詩集 十卷

唐・孟郊著 清・黃丕烈藏宋刊本影印

A 5判 三四四頁 洋裝一册 上製本 定價 一、六〇〇圓

東京都千代田區神田神保町二丁目十四番

大 だいあん 安

振替東京一九二六一
電話(〇六六)一〇二二

臺灣出版

中國文學古典

中國文學	史	黃公偉著	B 6	1,200.
漢詩	究	方祖樂著	A 5	430.
詩集	傳	宋・朱熹著 影印	B 6	1,100.
詩毛氏傳	疏	清・陳奐著 影印	B 6 4册	1,440.
文選	附考異	胡刻本影印	B 5	1,100.
箋注	詠	石印本影印	B 6	1,200.
蘇詩	新彙	清・趙克宜輯訂影印	A 5	3,800.
後山詩	鈔箋	清・昌廣生注 影印	B 6	1,100.
若溪漁隱	補叢	宋・胡仔著 影印	B 6	3,500.
唐宋文舉	話要	高步瀛著	B 6 3册	1,650.

東京都千代田區神田神保町二丁目7

有限會社

山本書店

電話九段(261)0847番・振替口座東京59950番

●中国の文化を新しい視点から解明した

中国文化叢書 (全10巻)

「日本文化と中国」第10巻／第九回配本
発売中！

尾藤正英編

- 日本文化の形成と発展に大きく影響を与えた中国——
本書は、日本の社会・文学・思想・宗教・芸術などを、
比較文化論の立場から論ずる。 ■A5判／一、一〇〇円
- ①言語
 - ②思想概論
 - ③思想史
 - ④文学概論
 - ⑤文学史
 - ⑥宗教
 - ⑦芸術
 - ⑧文化史
 - ⑨日本漢学
 - ⑩日本文化と中国
- (定価：一、一〇〇円①⑦のみ一、二〇〇円)

左伝の成立と其の展開 鎌田 正著

春秋学のうち、春秋左氏学について、左伝の真偽・成立からその学
の確立までを、一貫して研究してきた著者苦心の労作である。(品切)

漢魏詩の研究 鈴木修次著

「楚歌・新声考」「楽府・古歌・古詩考」「建安詩考」の3章にわ
けて、漢魏詩の範圍・性格、建安詩の性格・価値を語じた独自の著
作。 ■A5判／上装函入／4500円

漢語文法論 牛島徳次著

史記を資料として古代漢語の文法を初めて体系的に解明した画期的
業績。豊富な用例にすべて訳文を付し、初学者にも理解しやすい。

振替／東京40504
東京・神田錦町3-26

大修館書店

基本大學教科研究教材

文章軌範評注全 三島 毅 四五〇圓

標注十八史略上 池田四郎次郎 四〇〇圓

王陽明傳習錄講本 山田 準 五〇〇圓

漢詩作法小講話 濱隆 一郎 二二〇圓

複製 菜根譚 三五〇圓

影印 春秋左傳異名考・古器圖 三五〇圓

纂標 大學中庸章句全 三〇〇圓

龍川龜太郎 三五〇圓

纂標 論語集註全 五〇〇圓

纂標 孟子集註全 六〇〇圓

訓注 史記會注考證 龍川龜太郎著

石川梅次郎・原田種成訓注

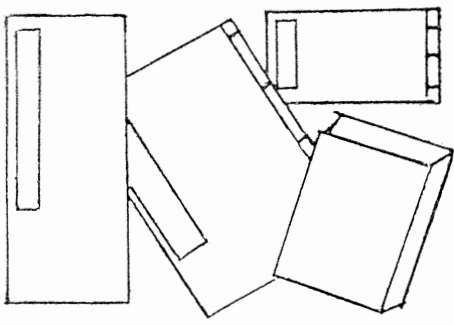
列傳 1 伯夷列傳・老莊申韓列傳 二五〇圓

列傳 2 管晏列傳・廉頗藺相如列傳 二五〇圓

世家 1 孔子世家 三五〇圓

これ以外もご注文により發行致します。

和・漢籍 古書賣買



松雲堂書店

東京都千代田區神田保町3-1
電話・東京 九段 6498

○東京教育大學漢文學會々則

一、本會は東京教育大學漢文學會と稱し、事務所を東京教育大學漢文學研究室に置く。

二、本會は漢文學及び漢文教育の研究と普及とを圖るのが目的である。

三、本會の會員は左の通りである。

1 東京教育大學漢文學・東洋文學及び東京文理科大学、東京高等師範學校の漢文學關係教官（退官者を含む）

2 東京教育大學漢文學大學院中國古典學專攻學生及び卒業生、並に東京文理科大学漢文學・東京教育大學東洋文學專攻卒業生

3 その他入會を希望する者

四、本會の主な事業は左の通りである。

1 總會 年一回

2 例會 年約七回

3 會報及び會員名簿の發行

4 その他必要な事項

五、本會の役員は左の通りである。

委員長 一名

委員 若干名

六、委員長は本會を代表し委員とともに運営に當る。

委員は本會の研究・庶務・會計を分擔する。

七、委員長は委員の互選による。

委員は東京教育大學學部學生中から四名、大學院學生から二名、専任教官から三名、一般會員から四名をそれぞれの互選によつて選出する。その任期は二年（學生委員は一年）とする。但し重任は差し支えない。

八、會員は會費年額六百圓（但し學生は半額）を納める。

九、本會會則の變更は委員會の審議を経て、總會出席者の過半数の承認を得なければならぬ。

後記

○昨年引き続き、本年も會報を發行することができましたのは、會員諸氏が各方面から御協力下さつた賜物であります。今後とも益々學會發展のために一層の御協力をお願いいたします。

○本年も幸にして、都内の共立社で印刷することができましたので、萬事好都合でした。殊に正字が自由に使えてうれしい。發行の期日も厳守してくれました。ここに共立社に對しまして深甚の謝意を表します。

（横山）

漢文學會々報第廿七號 昭和四十三年六月十日 印刷

昭和四十三年六月十五日 發行
（非賣品）

東京教育大學漢文學會

編輯者

水澤利忠

横山伊勢雄

印刷所

東京都千代田區神田保町三ノ二〇
株式會社 共立社印刷所

電話 二一〇二八

發行所

東京都文京區大塚三十一廿九一
東京教育大學漢文學會

振替東京四七六〇〇番